

第28回 議会報告会を開催しました

平成31年4月25日(木)午後6時から中央公民館にて第28回議会報告会を開催しました。今回は初めて平日の夜に開催し、57名の参加がありました。第2部「市民との意見交換会」での主な質疑・応答は次のとおりです。なお、報告書は市議会ホームページ・議会事務局でご覧いただけます。



第28回議会報告会の様子

空家対策の考え方は

問 空家が増加傾向だが、対応が遅れている。議会としての取り組みは。

答 3月定例会で空家等の適切な管理に関する条例を可決した。条例では、緊急に危険を回避する必要があると認めるときに、市が最低限の安全措置が可能。空家問題は市民の不安材料であるため、今後も当局に対応を求めていく。

公共施設整備のあり方は

問 メンテナンス費用の確保、統廃合など具体策は。

答 市は、管理計画に則し更新等を国の交付金も活用しながら実施。時代の状況に合わせ、議会での議論を深めたい。

踏切の安全確保が必要では

問 昭和地区の踏切は、朝夕に通過車両が多く子どもが車

と接触する危険性が高い。早急の改善が必要では。

答 危険性は以前から認識している。改良促進法の指定が受けられるよう、議員や行政が一丸となり国や鉄道事業者に要請していくことが肝要。

予算総額が増加の理由は

問 昨年より予算総額が10億円増加している。その理由は。今後増加する見込みか。

答 主な原因は企業会計予算が増額したため。今年度の市税収入は123億円と過去最高を見込んでいる。歳入に見合った規模の事業が予算編成の基本。議会は予算の執行状況を把握し、的確な財政運営のかじ取りを行っていく。

土木工事要求方法の改善を

問 道路改修要望は区長を通さなければいけない。市民が直接、言える様にすべきでは。

答 緊急事態を除き区長申請が原則。運用方針は、今後、議会でも議論を深めたい。

いじめ問題の議論状況は

問 いじめ対策防止法は時代に即していないのでは。

答 議会として議論を深めるには、至っていない。

特別委員会中間報告

6月定例会において、各特別委員会より委員長報告がありました。主な内容を報告します。

知立駅周辺整備特別委員会

▼平成31年1月18日開催

問 知立駅付近連続立体交差事業には、規律ある慎重な財政運営が必要だが、考えは。

答 長期財政計画を検討する際の課題と認識。他の事業に影響があつてはならない。

問 高架下の有効活用案は。まだ、まとまっていない。

答 駅南土地地区画整理事業費に80億かける価値はあるか。

答 南北線と環状線の接続が第一の目的。税収効果や賑いづくりを得るために必要。

問 西新地地区市街地再開発事業の具体的なイメージが示された。どこが手掛けるのか。

答 UR都市機構と覚書を結び事業を進めている。

▼令和元年5月20日開催

問 新知立駅舎デザインを市民と鉄道側が協議する場を設ける提案をしたが現状は。

答 協議の場の設置は困難。

問 西新地地区再開発事業のイメージ図に公益的施設とあるが検討状況は。

答 庁内検討委員会でも子どもモールとした。今年度、市民等と懇談会を行い、検討する。

議会改革特別委員会

平成30年9月から、令和元年5月の委員会まで、計12回の開催。これまで計106回開催。

▼主な検討事項と審議経過

①議会のICT化、タブレット端末導入について、メリット・デメリット、費用対効果の検証が必要などの意見があり、継続検討中。

②市民アンケート実施に向けて部会を設け、内容を検討中。

③市制50周年に係る議会の関わり方について、部会を設け、内容を検討中。

④災害時業務継続計画(議会BCP) 原案を作成し、審議終了。

▼議会報告会について

平成30年11月より3回開催し、計28回の開催となった。

▼市議会出前講座について

今年4月に「議会改革」をテーマに開催した。

▼視察の受け入れ状況

議会改革等について全国から調査申し込みがあり、平成30年10月から今年1月までに4件の視察を受け入れた。

